



平成 28 年 8 月 29 日

文部科学省教育関係共同利用拠点に「瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原ステーション（水産実験所）」及び「生物生産学部附属練習船豊潮丸」が再認定されました

文部科学省が公募する平成 28 年度「教育関係共同利用拠点」に、広島大学院生物圏科学研究科附属「瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原ステーション（水産実験所）」及び「生物生産学部附属練習船豊潮丸」が継続申請し、再認定されました。

「教育関係共同利用拠点」とは、多様化する社会と学生のニーズにこたえつつ質の高い教育を提供していくため、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進することで、大学教育全体として多様かつ高度な教育を展開していくことを目的として、平成 21 年 9 月に創設された文部科学大臣の認定制度です。

「水産実験所」及び「練習船豊潮丸」の拠点事業は、平成 24 年度から平成 28 年度まで 5 年間の認定を受けていましたが、期間満了となる今年度に継続申請を行い再認定されたもので、新たな認定期間は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 34 年 3 月 31 日までの 5 年間です。

現在も積極的に他大学の学生を受け入れて活動する両拠点ですが、来年度以降も「里海」としての瀬戸内海の水圏環境の教育とともに、瀬戸内海の生物多様性と生物生産のメカニズム、海からの恵みを持続的に利用するための仕組みに関するフィールド教育への一層の貢献を目標とし、連携して活動を行います。

- 瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原ステーション（水産実験所）
<http://fishlab.hiroshima-u.ac.jp/index.html>

○再認定後の取組

- 1) 長崎大学・京都大学・北海道大学・本学で構成する水産海洋実践教育ネットワークを核として、4 大学間で実習を提供する単位互換を実施するほか、既存の「里海フィールド演習」に加え、新たに 2 つの単位互換科目を提供する。
- 2) 農学系以外の学部の学生、小中高生、地域の一般住民も対象とした「海洋生物と環境との関わり」について知識を深めるための講座等を提供する。
- 3) 国際交流協定校を中心とした海外からの実習生に対し、瀬戸内海の生物多様性、資源の持続的利用について、さまざまな観点から理解を深める実習を提供する。

- 生物生産学部附属練習船豊潮丸

○再認定後の取組

- 1) 年間 150 日を越える運航実績（整備航海を除く）を実施する。
- 2) 年間約 700 名の乗船者の達成を目指す。
- 3) 大学間連携 5 航海（単独航海と他大学向け混乗航海）のすべてを実施する。
- 4) 年間 150 名を越える他大学からの利用を目指す。

教育拠点認定後の活動目標である上記 4 点を維持しつつ、新しい試みとして、5) 他大学学生の乗船機会の拡大と、より高度な学習機会を求める再乗船学生（学習リピーター）への対応を主眼に置いた取り組みを進めることで、意欲ある学生へのサポート体制を確立し、教育の質をより高いレベルにすることを旨とする。

【お問い合わせ先】

生物圏科学研究科支援室 和田 TEL：082-424-7902 Mail：sei-bucho-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
--